

研究課題名	2本の細径処置内視鏡を用いた新しい消化管腫瘍切除法の有用性と安全性の検討
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 消化器内科
研究責任者(職名)	岡村 卓真 (医長)
研究期間	承認日 ~ 2025年 12月 31日
研究目的と意義	本研究の目的は広く普及した軟性内視鏡による消化管腫瘍切除法において、細径処置内視鏡2本を用いた切除が効率的か安全かを検討することです。本研究により2本の細径処置内視鏡による切除が有用であれば、処置時間の短縮や偶発症のリスク低減が期待できます。
研究内容	●対象となる患者さん
	消化管腫瘍の患者さんで、当院にて2024年6月1日~2024年12月31日の間に内視鏡的切除の適応病変と診断され2本の細径処置内視鏡を用いた腫瘍切除の治療を受けた患者さん
	●利用する情報
	・患者背景：病名、病歴、年齢、性別、身長、体重、薬剤服用歴 ・自覚所見：発熱、腹痛、嘔吐の有無 ・血液学的検査：白血球数、血小板、CRP ・画像検査：内視鏡検査 ・有害事象：術中穿孔、術後穿孔、術後出血
	●研究方法
	本研究では、当院における消化管腫瘍罹患患者のうち細径処置内視鏡2本を用いた軟性内視鏡的切除を行った患者様を対象とし、診療情報を用いて治療開始前から治療後の2か月での内視鏡検査・治療情報を用いて後方視的に有用性と安全性を検討します。それにより、本切除法の完遂率、腫瘍の一括切除率や安全性、処置時間の実際を検討いたします。
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町6番39号 電話：095(822)3251 (内線3553) 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)